

作成年月日	令和3年7月12日
作成部局	病院局経営課

## 総合リハビリテーションセンター中央病院 スポーツ医学診療センター(R3.4 開設)の運営

### 1 開設の目的

一般のスポーツ愛好家からオリンピック・パラリンピックを目指すアスリートまで、すべての方を対象にスポーツ障害や外傷の診断から治療、手術、そしてスポーツ復帰までを一元的に対応するスポーツメディカルセンターとして、本年4月に兵庫県が全国の公立病院に先駆けて開設した。

### 2 開設場所

神戸市西区曙町 1070 (総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院内)

### 3 診療の内容

- ・ 外来診療 (スポーツ整形外科)  
通常診療 (月～金、ただし火・水・金曜日は午前のみ)  
夜間診療 (週2回月・木曜日、19時まで)  
スポーツ内科診療 (週1回、木曜午後)  
24時間WEB予約システムあり
- ・ 入院手術診療 (関節鏡視下手術、靭帯再建術、軟骨移植術、骨切り術等スポーツ外傷・障害に対する手術)
- ・ リハビリテーション(外来、入院)
- ・ 自家培養軟骨移植術や多血小板血漿 (PRP) 治療などの再生医療

### 4 診療の特徴

- ・ 神戸大学整形外科よりスポーツ医学の専門家を迎え、これまでの日本代表チーム等の帯同経験を生かして、スポーツ現場やアスリートにとって最適な医療体制を整備
- ・ 中央病院内にある西日本最大のリハビリテーション室内に最新のトレーニング機器を取り揃えたスポーツリハビリテーション室の設置
- ・ スポーツ内科を併設し、スポーツ貧血や栄養指導等を含め、全身を包括的に治療する体制 (全国の公立病院に先駆けた取り組み)
- ・ 治療に際して、神戸大学医学部附属病院と密接に連携し、様々な疾患に対応できるような体制
- ・ 令和5年度に総合リハビリテーションセンター内に開設予定の「ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)」(アリーナ、屋内プール、屋内フットサルコート等整備予定)と連携(アスリート・パラアスリートを対象に国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターのような機能を有するトレーニング施設のメディカルセンターを将来的に目指す)

### 5 診療の状況 (R3年4～6月)

- ・ 患者が行っているスポーツは、バレーボールの割合が最も高く、次いでサッカー野球、陸上競技、その他となっている。
- ・ 各スポーツで見られる疾患の類型は、膝関節疾患が最も多く、次いで足関節疾患、脊椎疾患等である。
- ・ 患者の中には日本代表バレーボールチーム選手や関西で活動しているバレーボールのプロクラブチームなどの選手を含み、入院による手術実施後、早期復帰を目指し、メディカルリハビリテーション及びトレーニングを実施している。

## 6 スタッフ

- ・ 整形外科医師【常勤2名(うちスポーツ医学診療センター長1名)、非常勤2名】  
センター長プロフィール：  
整形外科専門医・認定スポーツ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、  
日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学)、日本バレーボールリーグ  
機構(V. LEAGUE)メディカル委員、国際バレーボール連盟(FIVB)医事委員、  
バレーボール日本代表チームチームドクター
- ・ スポーツ内科医師(非常勤1名)
- ・ 理学療法士(常勤2名)

## 7 その他

### (1) FIFAメディカルセンター(FIFA Medical Centre of Excellence)に認定

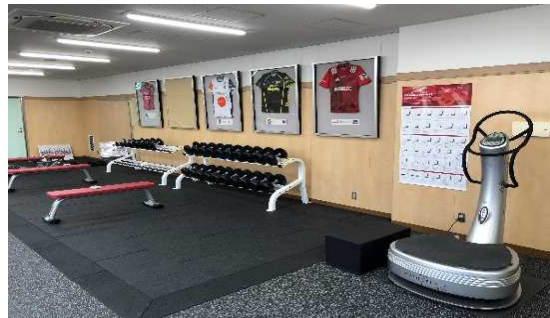
当院は、国際サッカー連盟(FIFA)により、「FIFAメディカルセンター(FIFA Medical Centre of Excellence)」に認定されており、神戸大学医学部附属病院、明和病院(西宮市)と共に世界32ヶ国に49ヶ所設置されているFIFAメディカルセンターの一つとなっている。

当センターでは、整形外科を始めとして、スポーツ内科等様々な分野のスペシャリストが協力して、サッカー医学の発展にも貢献している。

### (2) スポーツ救急ダイヤルの設置

部活やスポーツでのケガは夜間や休日などの診療時間外に生じることが多く、適切な治療が受けられず、ケガを見逃してしまうことが多いため、急なケガにも適切に対応できるようにスポーツ救急ダイヤルを設置。当院整形外科医が直接対応し、適切な処置・受診ができるようアドバイスを行う。

TEL	:	050-3612-8484
受付時間	:	平日 午後5時～午後10時
	:	土・日・祝 午前9時～午後9時



スポーツリハビリテーション室

### [問い合わせ先]

- ・ 総合リハビリテーションセンター中央病院管理課  
078-927-2727(代) 内線(2220)
- ・ 病院局経営課  
078-362-3216

## 参 考【診療実績（R3年4～6月）】

(1) 患者数（入院・外来） ※（ ）内は実患者数

	4月	5月	6月	計
延外来患者数	41 (27)	102 (54)	181 (69)	324 (150)
うち、夜間診療分	0 (0)	26 (19)	47 (29)	73 (48)
延入院患者数	93 (7)	234 (16)	391 (21)	718 (44)
計	134 (34)	336 (70)	572 (90)	1,042 (194)

## (2) 実患者 年齢、地域別、疾患内訳

(年齢内訳)

	4月	5月	6月	計
20歳未満	8	18	35	61
21～30歳	13	18	10	41
31～40歳	2	10	8	20
41～50歳	4	8	21	33
51～60歳	7	14	12	33
61歳以上	0	2	4	6
計	34	70	90	194

(地域別内訳)

	4月	5月	6月	計
神戸	7	20	29	56
阪神	1	3	2	6
東播磨	12	15	26	53
北播磨	1	5	10	16
中播磨	6	9	10	25
西播磨	0	0	0	0
丹波	0	2	0	2
但馬	0	1	0	1
淡路	0	3	3	6
県外	7	12	10	29
計	34	70	90	194

(主な疾患内訳)

	4月	5月	6月	計
●スポーツ整形受診者				
膝関節疾患	26	48	61	135
股関節疾患	0	1	0	1
足関節疾患	7	9	14	30
肩関節疾患	0	2	4	6
肘関節疾患	0	0	1	1
手関節疾患	0	1	1	2
脊椎疾患	1	4	8	13
その他	0	4	0	4
スポーツ整形受診者計	34	69	89	192
上記の内スポーツ内科受診者	0	4	2	6
●スポーツ内科のみ受診した者	0	1	1	2
合計	34	70	90	194

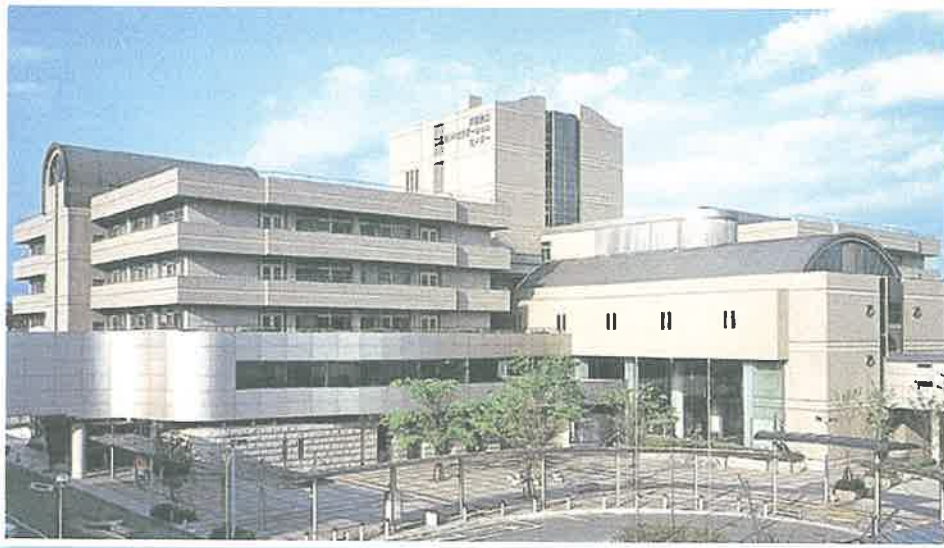
### (3) 手術実施内訳

	4月	5月	6月	計
関節鏡下靭帯断裂形成手術	3	1	1	5
関節鏡下半月板縫合術	4	3	8	15
関節鏡下半月板切除術	1	1	2	4
関節鏡下関節鼠摘出術	0	1	2	3
骨折観血的手術	1	2	1	4
骨切り術	2	2	2	6
抜釘	0	2	0	2
その他	0	2	1	3
計	11	14	17	42

※数値は実患者数ではなく術式ごとによるカウント

# 総合リハビリテーションセンター中央病院 スポーツ医学診療センター

## ご案内



スポーツ医学診療センター

# ご挨拶



総合リハビリテーションセンター中央病院  
スポーツ医学診療センター長 荒木 大輔

みなさま、こんにちは。総合リハビリテーションセンター中央病院 スポーツ医学診療センターセンター長に就任させて頂きました荒木大輔です。当センターは、スポーツを愛される方々が少しでも身体に違和感を覚えられたり不慮の怪我に見舞われたりした際に、診断から治療、手術、そしてスポーツ復帰まで、一元的に対応できるように開設しました。当センターでは整形外科のみならずスポーツ内科も併設しており、スポーツ貧血や栄養指導等含め、全身を包括的に治療する体制を整えております。これは兵庫県が全国の公立病院に先駆けた取り組みであり、当センターで治療される皆様が高いレベルでスポーツに復帰できるよう、最大限サポートさせて頂きます。

総合リハビリテーションセンターでは歴史的に脊髄損傷患者、パラアスリートの方々の治療を得意としており、施設内には障害者スポーツ交流館、自立生活訓練センター、また最先端のリハビリテーション技術を開発するための研究所やロボットリハビリテーションセンターなど、多くの施設があります。総合リハビリテーションセンター中央病院には西日本最大のリハビリテーション室があり、スポーツ医学診療センターの開設に合わせて最新のトレーニング機器を取り揃えたスポーツリハビリテーション室も設置しました。また、2023年度にはひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）が開設される予定で、アリーナ・屋内プール・屋内フットサルコートなど、さらにスポーツ施設が充実する予定です。豊富な施設と最先端の治療を融合し、オリンピック・パラリンピックを目指すアスリートから、一般のスポーツ愛好家まで、スポーツ復帰を目指す方々にとっての最高のスポーツメディカルセンターを目指しております。

当センターでは様々なプロスポーツのメディカルサポートも務めており、経験豊富なスタッフが皆様の診療を担当させて頂きます。また、内科・整形外科疾患等を含めましたスポーツメディカルチェックも可能です。皆様がより安全にスポーツを楽しみ、また更に高いパフォーマンスを発揮できるように、健康・体力づくりのサポートを行います。当センターはスポーツのレベルに関わらず、スポーツを愛される皆様を支えられる存在となるようお手伝いをさせて頂きますので、皆様いつでもお気軽にご相談ください。

## プロフィール

- 学歴・経歴**
- 2003年 秋田大学医学部医学科 卒業
  - 2011年 神戸大学大学院医学系研究科 修了
  - 2012年 米国ピッツバーグ大学 (University of Pittsburgh) 整形外科
  - 2014年 神戸大学医学部附属病院 整形外科
  - 2021年 総合リハビリテーションセンター中央病院 スポーツ医学診療センター
- 専門医等**
- 日本整形外科学会 整形外科専門医・認定スポーツ医
  - 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
  - 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 関節鏡技術認定医
  - 膝フォーラム世話人、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 評議員
  - 日本臨床スポーツ医学会 代議員
  - 日本オリンピック委員会 強化スタッフ (医・科学)
  - 日本バレーボール協会 ハイパフォーマンスサポート委員会  
メディカルユニット メンバー (学術・国際班 班長)
  - 日本バレーボールリーグ機構 (V. LEAGUE) メディカル委員

## スポーツ医学診療センターについて

当センターには、総合リハビリテーションセンター中央病院の外来・入院・手術施設に加え、CT・MRI・エコーなどの検査機器、関節鏡システムや体外衝撃波治療器など最新の治療機器を取り揃えております。また、スポーツ内科など、アスリートを取り巻く多くの外傷・障害に対して包括的な治療を展開いたします。

受診に際しては全国に先駆けて「スポーツ救急ダイヤル」を設置し、現場で急遽生じた外傷等に対しても適切なアドバイスが随時できるような体制を整えており、Web予約システムにより迅速な受診が可能となるシステムを構築いたしました。

当センターの開設に合わせて、午後7時までの夜間診を開始し、外来通院リハビリテーションや最新の治療機器を使用した物理療法も取り入れて、保存的加療にも積極的に対応します。

治療に際しては、神戸大学医学部附属病院と密接に連携し、様々な疾患に対応できるような体制を整えております。



手術室



スポーツリハビリテーション室

## FIFA Medical Center of Excellenceについて

当院は、国際サッカー連盟 (FIFA) により、「FIFA メディカルセンター (FIFA Medical Center of Excellence)」に認定されています。神戸大学医学部附属病院、明和病院と共に世界32カ国に49カ所設置されている FIFA メディカルセンターの一つとなっています。当センターでは、整形外科を始めとして、スポーツ内科等様々な分野のスペシャリストのチームが協力して、サッカー医学の発展にも貢献しています。



FIFA Medical Center of Excellence 認証式  
(2015年1月29日)

## スポーツ救急ダイヤルについて

急なケガにも対応できるようにスポーツ救急ダイヤルを設置しました。整形外科医が直接対応し、適切な処置・受診ができるようアドバイスを行います。

TEL: **050-3612-8484** 受付時間 ▶ 平日 午後5時～午後10時  
▶ 土・日・祝 午前9時～午後9時

### ●主な疾患●

#### ✦ 整形外科疾患

膝関節疾患 (靭帯・半月板・軟骨損傷、変形性膝関節症など)、股関節疾患 (股関節唇損傷など)、足関節疾患 (靭帯・軟骨損傷、アキレス腱断裂など)、肩関節疾患 (肩関節脱臼・腱板断裂・投球障害肩など)、肘関節疾患 (投球障害肘など)、手関節疾患 (三角線維軟骨複合体 (TFCC) 損傷など)、脊椎疾患 (腰椎分離症、腰椎椎間板ヘルニアなど) ほか

#### ✦ 内科疾患

スポーツ貧血、運動誘発性喘息、オーバートレーニング症候群、続発性無月経、骨粗鬆症・疲労骨折ほか

# 診療案内

## ●外来診療●

	月	火	水	木	金
午前診 9:00～12:00	山下(整形)	加藤(整形)	山本(整形)	荒木(整形)	荒木(整形)
午後診 14:00～16:00	山下(整形)			荒木(整形)	
14:00～17:00				本庄(内科)	
夜間診 17:00～19:00	荒木(整形)			山下(整形)	

※受付は終了30分前までとさせていただきます。

- リハビリテーション診療 月曜日～金曜日 ▶ 午前 9:00～12:00  
▶ 午後 1:00～5:00  
月曜日・木曜日 ▶ 午後 5:00～7:00

### 担当医

山下 貴大

加藤 達雄

山本 哲也

本庄 友行

### 所属

当院 整形外科

神戸大学医学部附属病院 整形外科

神戸大学医学部附属病院 整形外科

医療法人社団 本庄医院副院長 循環器内科 スポーツ内科



## ●お問い合わせ●



総合リハビリテーション中央病院  
スポーツ医学診療センター

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

TEL: **078-920-9814**

URL: <https://hwc-sports.jp>

